

平成29年度 事業計画書

自平成29年4月1日 至平成30年3月31日

公益財団法人 克念社

1. 人材の養成に関する育英事業(公益目的事業1)

この事業は克念社創立以来、現在まで継続している中心的な事業である。

累計で貸費生総数は1,228名。

(1) 平成29年度新規貸費生と貸費学資金について

平成29年度の応募者数は18名。平成28年11月29日に貸費生選考委員会を開き、全員を希望額通り内定することとした。結果、新規採択者は18名(月額4万円11名・同2万5千円7名)を予定しており、継続者49名で計67名。この貸費学資金は、金2,928万円となる。

(内訳)	新規採択者	年30万×7名＝	2,100,000円
		年48万×11名＝	5,280,000円
	継続者	年30万×9名＝	2,700,000円
		年48万×40名＝	19,200,000円
	合計	67名	29,280,000円

(2) 平成29年度若葉奨学基金給付生について

風間若葉様からの遺贈を特定資産とし、これを原資として新たに給付型の奨学金を創設した。平成29年度に応募者は17名(うち貸費生との併願は6名)。貸費生選考委員会と同日に給付生選考委員会を開き、2名を選考した。新制度はこの2名からスタートすることとなり、来年度の給付金額は、金48万円となる。

(3) 平成29年度貸費資金入金見込額について

当年度の貸費資金入金見込額は2,300万円の予定である。

2. 文化財の維持・管理および公開事業(公益目的事業2)

(1) 重要文化財「丙申堂」と登録有形文化財「無量光苑釈迦堂」の維持・管理および公開にあたっては内容の充実に努め、二つの文化財をセットとして有機的に結び付け、相乗効果を目指す。

(2) 「丙申堂」の敷地内の登録有形文化財(表門及び西側板塀)と「風間家旧別邸無量光苑釈迦堂」が鶴岡市より、歴史的風致形成建造物に指定される予定である。この指定を受けると保存、復元のための修理工事に補助金が交付される。そこで、平成29年度には、釈迦堂の主屋の庇の修繕、北側板塀全面(北門を含む)と西側板塀の一部の修繕工事等を予定している。実施にあたっては、鶴岡市の教育委員会及び都市計画課と連絡を取りながら進めていく。

修繕費として450万円を計上し、受取補助金として300万円を計上する。

(3) イベント、企画展示について

- ・ 4月中旬に丙申堂にて、尺八奏者のブルース・ヒューバナー氏とギター演奏者とのデュオ演奏会を開催予定。
- ・ 5月9日（火）～5月22日（月）無量光苑釈迦堂にて甚田治美氏のキルト作品と吉田優子氏の陶芸作品の展示会「キルト&陶芸 ふるさとに紡ぐ 二人展」を開催予定。お二人とも鶴岡市出身で小中学校がご一緒という仲。期間中14日（日）にはフルート演奏会も予定している。

3. 山林を活用した地球環境保全事業(公益目的事業3)

- (1) 豊かな自然を持つ里山に親しみながら、山林を愛する心を育むと共に、森林を保全するために必要な仕事に対する理解を深めることを目的とし、親子で参加する森林体験学習会を春と秋の2回開催する。実施にあたっては、NPO法人「公益のふるさと創り鶴岡」と連携する。
- (2) 山林の整備は例年同様、外部に委託し、管理費としては従来の実績を踏まえ、山林整備に努める。

4. 土地、建物の貸与事業(収益事業)

- (1) 基本財産の土地は、(株)庄交コーポレーション等に賃貸している。安定した賃貸収入により公益目的事業の遂行を図る。また、運用財産の内、本町1丁目の土地と建物については賃貸先が変わり、中断なく持続的な収入を得られる予定である。
- (2) 日本仏教研究のため、東京大学文学部印度哲学仏教学研究室に対し例年行っている助成、及び日本仏教史研究講座、特に聖徳太子講座開設等の運用資金として、公益財団法人中村元東方研究所に対する助成については、29年度も収益事業の中で継続する。

以 上